

あすぶつなぐ

社会福祉しずおか

2022

9

No.852

〈特集〉

サッカー×福祉の可能性

〈藤枝MYFCと福祉支援プロジェクト〉

P06に
登場!

鈴木俊文さん

静岡県立大学短期大学部社会福祉学科准教授。静岡DWAT(災害派遣福祉チーム)や厚生労働省での勤務等、活動の場は多岐にわたる。私生活では毎年一つ、何か新しいことに取り組む。趣味のサッカー、息子や友人、学生とをつなぐ重要なコミュニケーションツール。



編集発行／社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

静岡市葵区駿府町1番70号 TEL.054-254-5248 FAX.054-251-7508 ✉ spcsw@shizuoka-wel.jp
http://www.shizuoka-wel.jp 令和4年9月1日発行 1部50円 ※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。

Facebook ▶



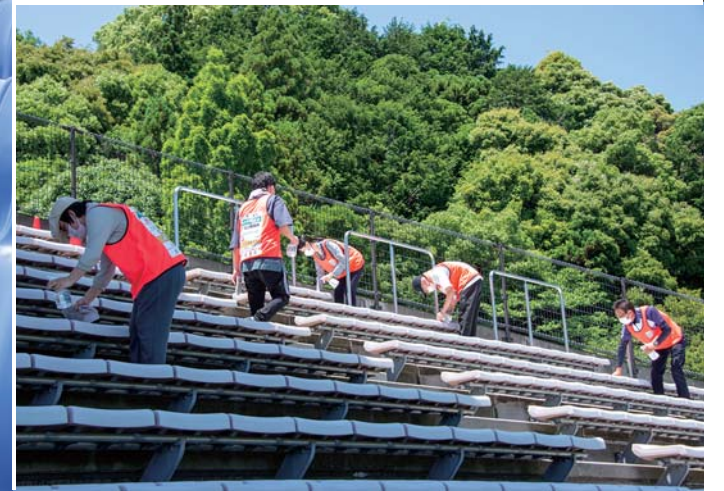
Instagram ▶



サッカー×福祉の可能性

～ 藤枝MYFCと福祉支援プロジェクト～

Jリーグ所属クラブ藤枝MYFCが焼津市、福祉事業所と協同して行っている福祉支援プロジェクトを知っていますか？
地域に貢献する福祉支援のあり方を関係者に伺いました。

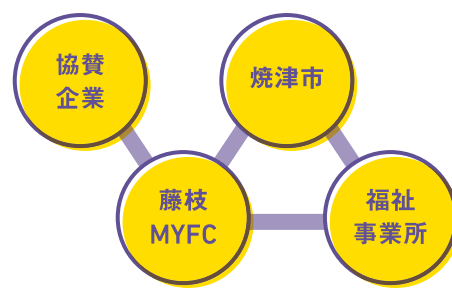


スタジアムの清掃を 福祉事業所に依頼、 社会参加を手助け。

藤枝MYFCと福祉事業所の利用者をつないだのは、焼津市障害者自立支援ネットワーク就労支援部会。同会の行っている、福祉事業所利用者の工賃(労働の対価)や労働意欲向上のための活動の一環です。試合のある日に藤枝MYFCがある日に藤枝MYFCがスタジアムの清掃を福祉事業所に依頼し、清掃に参加した福祉事業所利用者には藤枝MYFCのパートナー企業からの出資により、工賃が支払われるという仕組み。クラブ、行政、福祉事業所がタッグを組み、障害者の社会参加を後押ししています。

スタッフも利用者も MYFCと絆が結ばれ サッカーファンに。

藤枝MYFCのこの活動は2020シーズンからスタート。ホームタウンでの地域貢献を掲げるJリーグならではの取り組みですが、福祉事業所利用者に労働の対価として工賃を支払う仕組みが作られたのはJリーグの中でも先駆けといえます。賛同する企業が続々とパートナーになり、現在も出資を担っています。利用者からは「作業で得たお金でサッカー観戦をしたい」、清掃作業に同行する事業所スタッフは「サッカーファンになった」との声も上がるほど、強い絆が生まれています。



ホームタウンと共に 藤枝MYFC代表が 語る福祉と地域貢献。

私たちがこの活動を始めた背景には、以前、焼津市で障害者のサッカー大会を行い、そこで福祉に関わる方々つながりが生まれていったことがあります。その後、皆さんと何か一緒に

できないかと考えていた時、同じJクラブの中で川崎フロンターレが「就労体験プロジェクト」という活動をしているのを知りました。それが私たちのプロジェクト始動のきっかけです。私たちの場合は焼津市と協同して、市内の福祉事業所の利用者さんにスタジアムの清掃や前日の設営作

業をお願いし、その労働に対価をお支払いしています。つまり、仕事として依頼しているということです。その支払いの出資はパートナー企業にお願いしているのですが、活動に社会的意義を感じてくださる企業が多く、スポンサーの枠に空きが出て、ありがたいことにすぐ埋まってしまう状況です。逆に福祉事業所にとっても、スタジアムが利用者の工賃を得る場であるとともに、社会参加の場、学びの場になっていることが定着しつつあるので、活動はぜひ毎年続けていきたいと思っています。

スタジアム清掃に 参加した福祉事業所 利用者の声。

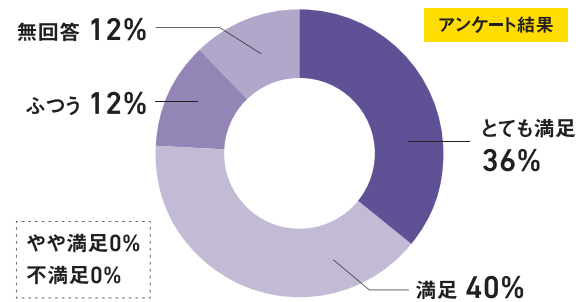
藤枝MYFCでは、スタジアム清掃に参加した福祉事業所利用者に毎回アンケートをお願いしています。10代から50代まで、年代はさまざまながら、利用者にとって満足度が非常に高く、「プロサッカーチームの仕事にかかわれた」、「座席がキレイになった」、「結構大変な仕事ですが、やり甲斐があります」と素直な感想が寄せられています。

株藤枝MYFC
代表取締役
徳田航介さん

Profile

2017年、株式会社静環検査センターの職員として、人手不足だった藤枝MYFCの手伝いを始め、生まれて初めてスタジアムに足を運ぶ。必死に戦う選手、得点した瞬間のスタジアムの盛り上がり、自分自身の中に沸き起こった感動が人生を変えた。同社から2021年、現職に。現在では海外クラブのゲーム結果まで毎晩チェックするほどサッカーに熱狂している。甘党で、富士川S.A.に売っているおまんじゅうを買いに朝イチで出かけることも。

業をお願いし、その労働に対価をお支払いしています。つまり、仕事として依頼しているということです。その支払いの出資はパートナー企業にお願いしているのですが、活動に社会的意義を感じてくださる企業が多く、スポンサーの枠に空きが出て、ありがたいことにすぐ埋まってしまう状況です。逆に福祉事業所にとっても、スタジアムが利用者の工賃を得る場であるとともに、社会参加の場、学びの場になっていることが定着しつつあるので、活動はぜひ毎年続けていきたいと思っています。



スタジアムには 清掃だけでなく 観戦にも出かける。

焼津ドリームビレッジは、スタジアムの清掃にも参加し、藤枝MYFCの選手の雇用もしている福祉事業所。「選手の雇用を開始してもう7年になります」と話す代表取締役の伏見修さん。スタジアム清掃に出かけたり、選手と共に働いたりするうちに、藤枝MYFCの大ファンになる利用者やスタッフの輪が広がっています。「以前は全然興味なかったのに、今では皆勤賞を

株富士山ドリームビレッジ
県内各地で障害者福祉事業所を運営。

株富士山ドリームビレッジ
代表取締役
伏見修さん

株富士山ドリームビレッジ
焼津ドリームビレッジ
サービス管理責任者・
管理者
菊地佐衣子さん



狙えるぐらい、観戦に行っています」と笑うのはスタッフの菊地佐衣子さん。故郷を離れて生活する選手の健康を心配し、事業所での業務を教え、精神的支えになっています。「私も子どもがいるので、ついつい母親の気持ちになりますね。藤枝MYFCと強いつながりが生まれた焼津ドリームビレッジ。伏見さんは「J2に上がったら一緒に働けなくなるかもしれないけど、それでも昇格を願っています」と、心から藤枝MYFCを応援しています。

Q. どのような勤務形態ですか?

A. 現在は火・水・木の午後に勤務しています。

Q. 業務内容を具体的に教えてください。

A. 利用者さんと一緒に、シーラーで封をしたり、乾燥シイタケの軸切りをしたりしています。他に利用者さんの送迎をしたりすることも、日によって変わります。

Q. セカンドキャリアについて選手同士で話したりしますか?

A. はい。同じGKの杉本(拓也)さんに食事に連れて行ってもらった時など、人生設計についてよく話しています。私は教員免許を持っているので、将来的にはサッカーを教えたいと思っています。

Q. スポーツ選手の経験が福祉の仕事に活かせることは?

A. ほとんどのスポーツ選手は辛いことのほうが多いと思うし、これまでの人生でいくつもの山を乗り越えてきていると思います。負けん気が強く、諦めない根性もあるのではないのでしょうか。それに体力もあります。福祉の現場で活かせることが多いと思います。

Q. 焼津ドリームビレッジの仕事についたきっかけは?

A. チーム(MYFC)から声がかかったのがきっかけです。その後、ドリームビレッジとの面接があり、仕事につけることになりました。

Q. 仕事の一番のやり甲斐はなんですか?

A. 利用者さんとの接し方を考えられることです。利用者さんは一人ひとり違います。相手の気持ちを理解したいと思ってその場その場でよく考え、気づくことも多いです。コミュニケーションの難しさを感じながらも、気持ちが通じたときはとても嬉しいです。

菅原大道選手 に訊く!!

福祉の仕事とサッカーを 両立している

藤枝MYFCのゴールキーパーとして活躍、
そして福祉事業所 焼津ドリームビレッジで働く
菅原大道(ひろみち)選手にお話を聞きました。



Q. サッカーを始めたのはいつですか?

A. 小学校1年生の時です。兄も姉もやっていたので、僕もクラブに入ってやり始めました。

Q. サッカーの一番好きなところはどこですか?

A. 仲間とのコミュニケーション。みんなで喜んだり悔しがったりする、そこが良さだと思います。

Q. どのような選手でありたいと思いますか?

A. 「あきらめない」。僕は地域リーグから選手人生をスタートしています。あきらめないで頑張っていれば、チャンスが訪れることを実感しているので。

Q. 尊敬している選手はいますか?

A. 栃木シティ時代に出会ったコーチ兼選手のシュナイダー潤之介選手。誰よりもストイックで、その姿を見て自分も頑張らなきゃと刺激を受ける存在です。

Q. 藤枝MYFCでやり遂げたいこと(目標)はありますか?

A. J2昇格です。これはチームの目標でもあります。このメンバーで須藤監督を胸上げたいです。

Q. サッカーと福祉事業所の仕事の両立は大変ですか?

A. 大変だけど苦ではありません。得られるものが多いから。足りないスキルを考えるきっかけにもなります。

Profile

【生年月日】1995年8月10日 【出身地】秋田県
【身長/体重】190cm/80kg
【経歴】FC角館セレジェスタ/仙北市立角館中学校/
秋田県立角館高校/仙台大学/北海道十勝スカイ
アース/栃木シティフットボールクラブ/藤枝MYFC

菅原選手が語る サッカーと人生と 福祉について。

サッカーを始めたのは小学校1年生の時です。4つ上の兄、3つ上の姉がサッカーをしていたので、「やりたい」というよりも、やるのが当然という感じでスタートしました。サッカーは集団でやるスポーツなので、勝つ喜びも、負ける悔しさも一人のものではないところがとても好きなんです。

藤枝MYFCには須藤監督のカラーを感じます。エンターテイメントというか、全ての人が楽しめるような、スタジアムを盛り上げるゲーム運び、お客さんとの一体感があります。ただサッ

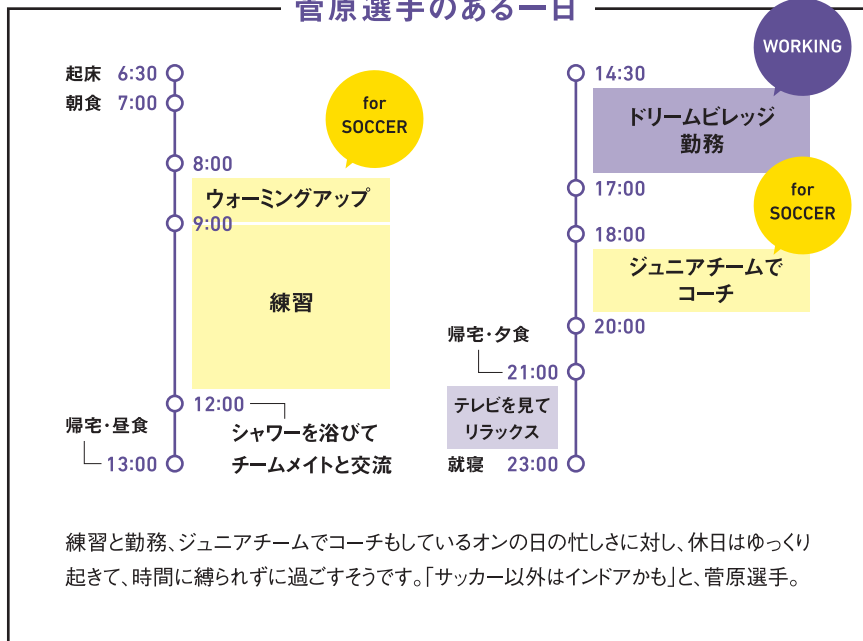


カーをプレーするだけじゃない、そこがすごくいいなと思っています。僕がサッカーだけに専念していたのは栃木シティ時代の1年間のみです。大学卒業後から常に仕事とサッカーの両方をしてきたので、焼津ドリームビレッジでの業務と練習の両立については、大変じゃないわけではないんですが、苦ではありません。どちらかというと、得られるものの方が大きいと感じています。一人ひとり違う利用者さんとのコミュニケーションはやはり難しく、でも考えた末にこう言えれば分かってもらえるかな?と行って行動したことが成功すると、とても嬉しいです。相手の気持ちを理

解することは簡単にできないんですが、でも、理解したいと思っています。ドリームビレッジの「来れる時はいつでも来ていいよ」という言葉もありがたくて。練習や身体のメンテナンスとの兼ね合いで、今は火・水・木の勤務にしています。藤枝MYFCのファンになった利用者さんが自分で

チケットを買って、公共交通機関を使ってスタジアムに来たという話を聞くと、利用者さんの自立支援にもつながっているのかなと思ってそれも嬉しいです。福祉事業所での仕事は、サッカー選手以前に、一人の大人として成長させてもらっていると感じています。

菅原選手のある一日



福祉の“中の人”

様々な福祉の活動について、具体的な内容や魅力を、実際に活動している人に直撃!リアルな声をお届けします。



case.20
静岡県立大学短期大学部
社会福祉学科准教授
鈴木俊文 さん
suzuki toshitomi



「福祉を“自分ごと”と捉えてもらうために、いろいろやっています」

現在、静岡県立短大で教鞭を取る鈴木さん。静岡DWA(T(災害派遣福祉チーム)や厚生労働省との関わり等多面で活躍していますが、どんな時でも「費している思いは「福祉をひとごと」ではなく、自分ごと」として捉えてほしい」というもの。学生の写真やフレグランスが並び、居心地のいい鈴木さんの研究室でお話を伺いました。

Q 鈴木さんの専門は何ですか?
主要研究テーマが福祉人材の育成、活用をはじめいろいろあって、「何が専門か分かりにくい」とよく言われます。広い視野を持つことと深く掘り下げること、両方しながら研究活動をしたと考えているんです。

Q 現場職員から厚生労働省での勤務まで、経験も幅広いんですね?
僕の介護現場のスタートは、介護老人保健施設です。重度の認知症

の家族を抱え、時には顔に引っかけ傷まで作りながら「生懸命に介護している家族とも接してきました。その方たちが楽になる「頑張る」にすぎなくてもできる「介護」について、ずっと考えています。

厚生労働省で学んだことは、人材確保のための広報戦略をきちんと立てること。福祉においても広報戦略は非常に大切です。ただ、行政側にいると幅広い福祉人材確保に向けた広報の必要性を感じるんですが、現場にいると「もっと専門職として本質的なことを理解してほしいな」と願います。表層ではない介護の素晴らしさを知ってほしいと思うんですよ。どちらも経験している中で、双方の考えが理解できます。

Q 鈴木さんが大切にしていることを教えてください。
発見したことを、関わった人たちの役に立つ実践論、方法論など、最終的に必ず「教育に使える形にして残す」ということです。教材作成時にも意識しているのは、例えば災害時の場合、大切なことは「できないことをわかっておくこと」だったりします。介護職員は圧倒的に女性が多いので、従来の搬送法等の移動支援技術では困難な場合が多いです。私が作成した教材のモデルはみんな身長150センチ程度の小柄な女性。彼女たちができる方法を書いています。

仕組みを作っても、教育的支援がなければ、活用と持続ができません。人材育成のためのセミナーでは、真剣に聞いてもらうために話し方も考えます。「どうしたら福祉を自分ごと」として捉えてもらえるか、それが僕にとって一番大切なことだから。

今月の

Information

福祉にまつわる様々なお知らせや取り組みをご紹介します。あなたの暮らしに役立つことがあるかもしれません。

県社協へ寄附金をいただきました。ありがとうございました。

ふれあい基金
静岡銀行ふれあい基金協会様から212,400円のご寄附をいただきました。
※地域福祉・ボランティア活動等推進助成、地域共生大賞等、ボランティア活動の支援に活用させていただきます。

一般寄附金
東洋羽毛東海販売(株) 静岡営業所様から300,000円のご寄附をいただきました。
静岡県中小企業家同友会 障がい者問題委員会 様から30,000円のご寄附をいただきました。
※地域福祉活動等に活用させていただきます。

宅配クックワーツスリー 静岡桜橋店
資料請求お気軽にお問い合わせください。
フリーダイヤル 0120-5123-80

施設のメンテナンスを効率良い専門車両で応援します。

カーテン出張クリーニング
カーペット・タイル出張丸洗い
ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング

特許ランドリー車
洗浄前
洗浄後

株式会社三ナツ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1
フリーダイヤル-ミナワにハロー 0120-370286 fax054-295-9003

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットはコチラ (ふくしの保険ホームページ)

保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン
死亡保険金		1,040万円		
後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
入院保険金日額		6,500円		
手術保険金	入院中の手術	65,000円		
	外来の手術	32,500円		
通院保険金日額		4,000円		
特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償
地震・噴火・津波による死傷		×	○	○
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

＜基本プランに加入される方へ＞
基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。
例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ21-10723より転載して作成)

福祉の現場からこんにちは!

福祉の現場で働く人からの知恵や工夫、日常的に利用できる情報と、素敵な福産品に出合える場所を紹介します。福祉をより身近に感じるとともに、あなたの生活にもぜひ活用してみてください。

福祉施設職員が伝授! 介護のコツ

アサヒサンクリン株式会社
 デイサービスセンター 吉田
 管理者 木佐森 貴裕 さん



指先の運動や脳トレ、
 レクリエーションにも。
 洗濯ばさみが役に立つ!

どこにでもある洗濯ばさみを使って、円形の画用紙に取り付ける作業を活動の一つとして行っています。摘む、離すなど指先の運動になり、洗濯ばさみを色分けすることで脳トレにもつながります。また、円形の画用紙に洗濯ばさみを2つを付けて立たせ、ドミノゲームをすることも。上手に倒れるように試行錯誤し、白熱のチーム対抗戦が繰り広げられますよ。



福産品を探して

ライク

静岡市清水区草薙一里山26-9
 ☎ 054-346-2772 ☎ 日・祝日
 ⌚ 9:30~16:30

こちらからも購入できます!

ふじのくに福産品WEBカタログ
<https://s-seihin.jp>
 ※キーマチキンカレーレトルト、
 冷凍餃子のみ。



キーマチキンカレー弁当(並盛) 400円

静岡県立大学の准教授と共同開発した『キーマチキンカレー弁当』は、たっぷりの野菜、鶏ひき肉、18種類のスパイスの旨みが食欲をそそります。保存食としても重宝するレトルト(540円)も販売中。冷凍餃子(18個入、ニンニク入り700円・ニンニク無し650円)はスタッフこだわりの逸品です。



令和4年「老人の日・老人週間」キャンペーン

標語 みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会

9月15日は「老人の日」、9月15日から21日までの1週間は「老人週間」です。

● キャンペーンが目指す 6つの目標

1. すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。
2. 高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。
3. 高齢者の生きがい・健康づくり、介護予防、感染拡大防止等への取り組みを進めよう。
4. 高齢者の人権を尊重し、認知症高齢者への支援のあり方や介護問題等をみんなで考え、高齢者や介護者を支える取り組みを積極的に進めよう。
5. 高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、多世代がお互いに協力して安心と活力ある健康長寿社会をつくろう。
6. 減災や防災への取り組みに関心を持ち、日頃から地域でのつながりを築こう。



[ポスター制作] 全国社会福祉協議会